

～2023-24年度主題～



国際会長 ウルリック・ラウリドセン
 “Let Your Light Shine”
 アジア太平洋地域会長 利根川恵子 (川越C)
 “Be the light for change”
 東日本区理事 山田公平 (宇都宮C)
 “Instil Confidence in our Youth”
 湘南・沖縄部長 黒川 勝
 “初心に帰り、新たな船出を踏み出そう”
 クラブ会長 今城高之
 “Enjoyment first and foremost !”
 (楽しく、何はさておき楽しく！)

2023-24年度 クラブ役員

会長 今城高之
 直前会長 辻 剛
 副会長 鈴木茂
 書記 岡田美和
 会計 横田孝久

今月の聖句

「また、キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。この平和にあずからせるために、あなたがたは招かれて一つの体とされたのです。いつも感謝していなさい。」

コロサイ書3・15

11月本例会次第

日時 11月24日 (金)
 17:30～19:00
 場所 かけはし都筑
 司会 鈴木茂さん
 受付・記録 岡田美和さん

～プログラム～

1. 開会点鐘
2. ワイズソング・ワイズの信条
3. 会長挨拶
4. 各種報告・連絡等
 ・You&Iコンサート総括
 ・今後の行事予定
 ・その他
5. YMCA報告
6. Happy Birthday
7. アピール等
8. 閉会点鐘

《巻頭メッセージ》

辻 剛 (直前会長)

地 球の温暖化のためか日本は11月なのにこの夏の後遺症か真夏日のような陽気が続いています。かくいう私は8月中旬にコロナに感染しいまだにその後遺症に悩まされています。一番の症状は「倦怠感」でこの2ヵ月半は右のものを左に動かすことすら億劫で、思考は完全に停止していました。そんなわけでヘルマン・ホイヴェルス神父（私が生まれた1938年には上智大学の学長だった）の詩をご紹介します。ただき巻頭メッセージにかえさせていただきますので、悪しからずご了承ください。私は基礎疾患のデパートみたいな身ですからコロナにかかったら99%天国行きと覚悟していました。しかし、家族はもちろんのことDr.や看護師の皆様、ワイズをはじめ知人友人の皆様のお支えと励ましをいただきおかげ様でだいぶよくなりました。いま心にあるのはただただ「感謝」の2文字だけです。ホイヴェルス神父さんの詩のような心境にはまだ達していませんが、残された人生の祈りとしたと思っています。



ホイヴェルス神父の詩「最上のわざ」

この世の最上のわざは何？ 楽しい心で年をとり、
 働きたいけれども休み、しゃべりたいけれども黙り、
 失望しそうなときに希望し、従順に、平静に、おのれの十字架をになう。
 若者が元気いっぱい神の道をあゆむのを見ても、ねたまず、
 人のためにはたらくよりも、謙虚に人の世話になり、
 弱って、もはや人のために役立たずとも、親切で柔和であること。
 老いの重荷は神の賜物。
 古びた心に、これで最後のみがきをかける。まことのふるさとへ行くために。
 おのれをこの世につなぐくさりを少しばかりはずしていくのは、真にえらい仕事。
 こうして何もできなくなれば、それを謙虚に承諾するのだ。
 神は最後にいちばんよい仕事を残してください。それは祈りだ。
 手は何もできない。けれども最後まで合掌できる。
 愛するすべての人のうえに、神の恵を求めために。
 すべてをなし終えたら、臨終の床に神の声を聞かろう。
 「来よ、わが友よ、われなんじを見捨てじ」と。

“To acknowledge the duty that accompanies every rights”



《2023年10月度本例会報告》

日時：10月27日（金）17:00～19:00

場所：かけはし都筑

出席者：（対面）相賀、今城T・H、大野、岡田、
鴨下、坂口、鈴木K・S、横田（10名）
（Zoom）辻Ta・Tsu（2名）ゲスト（対面）：遠藤真理さん（横浜YMCA
常議員・横浜YWCA役員）、
水田秀子さん（横浜YMCA理事・定義
員）高松満至さん（3名）ビジター（対面）：古賀健一郎さん（横浜C）
（合計16名）

～例会次第～

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 一同
3. 今月の聖句「詩編34・13-16」相賀チャプレン
4. 会長挨拶

●当10月は、山中湖方面へのバス移動例会を予定していたが、諸般の事情により中止し、通常例会に切り替え、10月末の宗教改革記念日に因み、マルティンルターを題材とした卓話を相賀チャプレンにお願いした。

5. ゲスト・ビジター紹介 副会長
ゲストの遠藤真理さん、水田秀子さん、高松満至さん及びゲストの古賀健一郎さんの紹介があった。
6. 卓話「宗教改革者マルティンルター」～その世界史的意義とドイツ讃美歌の誕生～ 相賀 昇チャプレン
以下の項目構成に基づいて、ルターの宗教改革はプロテスタント教会を誕生させたのみならず、カトリック教会にも自己改革をもたらした、とのお話があった。

I ルターと宗教改革

宗教改革と世界史

ルターの生涯一回心・95箇条テーゼ・破門・聖書
翻訳

2-1 修道士・回心

2-2 95箇条テーゼ

2-3 ヴォルムス勅令から宗教戦争、ヴェストファリア条約まで

ルターの結婚と最初の牧師館

ルターのバラの紋章

ルターとりんごの木

II ルターとドイツ讃美歌の誕生

自国語による会衆賛美へ

ルターの音楽観とその讃美歌

III 十字架による和解と一致、寛容と平和のヴィジョン

※卓話の後、ルターが作詞・作曲した有名な「讃美歌

21」の160番・246番・377番を皆で歌唱した。

7. 各種報告・連絡事項

①You & I コンサート

11月18日（土）の開催に向けて、準備を進めている。

・ウクライナ避難民の方の招待については、YMCAの石川さんを通して打診中であるが、6名程度の参加が見込まれている。

・会場出入り口で、例年通り、YMCAによる海外協力募金を行なう予定。

・神奈川新聞および地域のミニコミ紙に広告記事を掲載した。

② 手編みマフラー製作進捗状況：大野さんより、その時点で、マフラー、帽子等40点ほど集まっており、11月6日にウクライナの方々にお渡しする予定であるとの報告。（その後100点ほど集まった）

8. YMCA報告

鴨下純久北Y館長

(1)11月3日（金・祝日）、恒例の「北YMCAまつり」を開催するので、ご協力いただきたい。バザーの献品は予想以上に集まっている。

(2)12月5日（火）19:00～第100回Y-Y's協議会。会場・中央YMCA、担当・とつかクラブ。

(3)12月16日（土）13:30～横浜YMCAクリスマス礼拝、会場・指路教会。

9. アピール・スマイル：全員参加により実施。

10. Hppy Birthday：今城宏子さん（10/3）

11. 閉会点鐘

会長

12. 会食懇親会：19:30より、センター南駅横の「土間土間」にて開催、会費@3,000円

（鈴木 茂 記）



《特別報告》

ウクライナの方々へ 手編み作品贈呈

今城 高之 記

つづきクラブでは、TKB*を中心に、昨年より、横浜在住のウクライナ避難民の方々に、少しでも暖かく冬を過ごして頂くこと、手編みマフラーや帽子を作り贈るプログラムを行っています。

作品の編み手は、TKBメンバーの大野君枝さんと彼女の強力なサポーター数名で、まだ暑い夏の終わりごろからせせと創作に励んで下さり、先般の贈呈式時には約100点が完成していました。

去る11月6日、当クラブの今城会長と大野君枝さん、今城宏子さんの3名は、横浜市緑区の「十日市場地域ケアプラザ」を訪ね、横浜YMCAの肝いりで運営されているウクライナ避難民の方々の交流の場である「みどりクラブ」の例会に参加いたしました。

当日の「みどりクラブ」には、10名ばかりのウクライナ人男女が参加しておられ、お茶とお菓子で話し合いをしておられました。持参した数十点のマフラーや帽子をテーブルに並び、会長より簡単に訪問の趣旨、我々の連帯の気持ちを伝えた後、参加の皆さんを誘って、好きな品物をお選びいただきました。皆さん、目を輝かせ、手に取って身に当ててお互いに評価しながら、それぞれ何点かずつを選んでおられました。前回の贈呈式にも参加された大野さんによると、今回の皆さんは、前回より遥かにリラックスした様子が伺われるとのこと、避難民の方々も、次第に日本での生活に慣れてこられ、気持ちに余裕が生じられたものと想像されます。

ご年配の方の中には、ご自分も編み物が大好きで、編みたいけれど毛糸が手に入らないといった話をされる方もおられ、今後のプログラムとして、ご一緒に作ることも考えられる

と思います。

また、横浜市がみなとみらいで運営しているウクライナ避難民支援拠点「ドゥルーズィ」の担当者（日本人）が来ておられ、そちらに集う方々にも分けてほしいとの要望があったため、マフラー、帽子各10点ずつをお渡しし、今後さらに希望があればご連絡いただくようお願いしました。

今回贈呈したものを差し引いても後数十点の品物が残っていることから、早急に、贈呈先の検討を行うことと致します。

末尾になりますが、今回、毛糸をご提供いただいた田園江田教会の皆様にはこの場を借りて心よりお礼申し上げます。頂いた様々な毛糸のおかげで、多種多様なデザイン、色どりのマフラーや帽子が出来ました。

また、制作に参加ご協力下さった大野君枝さんのご友人の方々、田上容子さん、大野眞理子さん、小坂瑞枝さん、高間みさ子さん、名越恭子さん、円谷一葉さんには、つづきクラブ一同より心よりの感謝を申し上げます。是非一度私たちの会にもご参加下さり、直接お礼を申し上げる機会を作って頂ければ幸いです。

これから、寒い冬が訪れます。遠くウクライナでは、ここ横浜の冬とは比べ物にならないほどの寒さと伺っています。いつまでも終わらない戦火によって家族を失い、住まいを失った方々が寒さに震えておられるのではないかと心を痛めている私たちです。何とか、そんな方々にも、つづきのマフラーや帽子が届けられないか思いを巡らしています。もし何方か、これらをウクライナへ届ける良い方法をご存じの方がおられれば是非ご教示ください。（了）



BBC NEWSが厳しいウクライナの冬を伝えるニュースを伝えています。

以下よりご覧になれます。（Ctrlを押してURLをクリック）

[WHO、ウクライナで数百万人の命「脅かされる」 厳しい冬の到来を前に警告 - BBCニュース](#)

“To acknowledge the duty that accompanies every rights”

《事務例会報告》

岡田 美和 記

日時：2023年11月15日（火）17:00~19:00
 会場：夢Café
 司会：今城高之会長 報告：岡田美和書記
 出席者：今城H・T、大野、岡田、鴨下、鈴木K・S、
 辻T・Ts、横田（10名）

1. 開会点鐘・黙祷 会長
2. 会長挨拶 会長
3. 審議・検討・報告事項
 - 1) You&Iコンサート 11月18日(土) について
 - ・当日の役割分担の確認。
北YMCAはじめ横浜YMCAスタッフ13名がボランティア参加することを確認。
 - ・当日の流れの確認
 - ・配布物の確認ならびに準備について
 - ・広報活動（イツコム・TVなど）の取材
 - ・終了後、打ち上げ懇親会を行うこととした
 - 2) ウクライナ支援の編み物マフラーの贈呈
11/6（月）十日市場ケアプラザにてウクライナの方々（みどりクラブ）へ贈呈した。
 - ・当クラブからの出席者：大野、今城H・T
 - ・約80点のマフラー・帽子を持参し、参加のウクライナの方々にそれぞれ2-3点贈呈し喜んでいただけた。
 - ・横浜市が運営するウクライナ避難民センターへ20点ばかりを託し、参加者への配布をお願いした。

- 3) 第27回湘南・沖縄部大会
 - 日時：11/25（土）14:00~16:00
 - 場所：湘南とつかYMCA（ZOOM併用）
 - ①プログラム
 - ・第1部 講演「ウクライナおよびウクライナ避難民への支援活動」コヴァリエヴスカ ナタリアさん（横浜市国際局国際協力部）
 - ・第2部 部大会
 - ・第3部 アトラクション 横浜クリエイティブアーツのみなさんによる小ミュージカル」
多様性を尊重し合い、ミュージカルを通じて青少年の国際的な交流を促進します。
- 当クラブからの参加予定者：今城T・H、大野、坂口
4. 今後の予定について
 - 1) 11/24（金）11月度本例会 17:30~ @かけはし都筑
 - 2) 11/25（土）第27回湘南・沖縄部大会 14:00~16:00 @湘南とつかYMCA
5. アピール・報告
当クラブの会友、ロバート・エスキルドセンさん（ACN副理事長、ICU副学長）当クラブ並びに横浜YMCAに入会希望をお持ちとの朗報が鈴木Sよりもたらされた。大歓迎！年明け1月の例会時に入会式を行う予定で進める。

《TKB便り》



今月のTKBお仕事会は、定例の、東日本大震災被災地の高齢者施設と保育所の子どもたちへ送るバースデーカード作りと、ウクライナ避難民の方々に届ける手編み製品の包装とシール付です。

11月のバースデーカードのデザインは余り季節性はありませんが、七五三もある月でもあり、多産のシンボルの犬が選ばれました。折り紙を折って目鼻口を書き込みました。

ウクライナ避難民の方々を支援するアための手編み品が沢山作られ、それらを袋に詰めてシールを張りメッセージ・タグをつけました。本格的な冬が来る前に、早く、避難民の方々に届くことを願いつつ作業を行いました。（参加者5名）

(10月実績)



例会出席	13名	在籍会員数	15名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	12名	月間出席者数	12名	スマイル	11,000円	27,153円
ビジター	1名	メンバー	1名	—	—	—
ゲスト	3名	月間出席率	86.6%	—	—	—

“To acknowledge the duty that accompanies every rights”

横浜北YMCAでは、11月3日(祝)に『北Yまつり』を開催しました。

毎年恒例であった『北Yまつり』、コロナウイルス感染症もあり昨年は制限を設けての実施でしたが、今年度は食べ物の提供も行い例年に戻し実施しました。10時のオープン前には200名を超える方々が入場を待つ行列もありました。

『北Yまつり』のテーマは、メインテーマに『笑顔につながる小さな一歩』、サブテーマに『SDGsとエシカルに取り組む』です。エシカルとは「人や地球環境、社会、地域に配慮した考え方や消費行動」です。8月より北Yまつり実行委員会にて、横浜北YMCA運営委員会のみなさまとスタッフで会議を重ね安全を第一に考え、地域の方々の笑顔につながることやエシカルとSDGsをどのように伝えるのかなど考え準備し実施しました。エシカルとSDGsの取り組みも菊名小学校放課後キッズクラブの児童とリーダーで、謎解きゲームを楽しみながら考えられる企画も盛り込まれました。

今年度もウクライナより避難されている方にも参加協力いただきウクライナ支援として民族人形やアクセサリー、シールなどの販売もしました。

食べ物の販売は、フランクフルト・わたあめを3年ぶりに販売しました。わたあめは子どもたちにも人気で行列ができておりました。その他、蚤の市・キッズコーナー（バザー）、ゲームコーナーなど賑わいとても楽しく開催できました。

前日の準備や当日には、横浜つづきワイズメンズ&ウィメンズ、横浜つるみワイズメンズ、横浜北YMCA運営委員会の方々、小学3年生以上のお子さまや保護者、多くのボランティアに支えられ準備、運営ができたことを心より感謝します。

『北Yまつり』には多くの企業や会員、地域の皆様にも献品のご協力もいただきました。当日あそびに来られた方にも感謝を届けたいです。

この日の『北Yまつり』で集まった収益は約30万円です。YMCA国際・地域協力募金(地域や世界で必要とされている方々へ用いられます)として使用させていただきます。以上、実施報告となります。



“To acknowledge the duty that accompanies every rights”



《忘れ物》

第27回横浜YMCAインターナショナルチャリティーランに関する10月号プリテン5頁での報告の際、肝心の当クラブ参加者4名の写真掲載が漏れていましたので、改めて掲載いたします。

チャリラン開催は、ちょうどひと月前の10月14日。素晴らしい秋空のもと開催されましたが、気温はまだ25℃を上回る夏日で半袖の人も大勢見られました。それから一か月、我が家では陽が落ちると暖房を入れる始末、急激な気候の変化に驚かされます。皆様、くれぐれも風邪などお召しにならぬよう！

今城高之 記

《Y's東日本区紹介》

私たちワイズメンズクラブについて少しお話ししましょう。私たちのクラブの正式名称は「横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ」であり、組織的には、東日本を統括する、「ワイズメンズクラブ国際協会東日本区」に連なる7つの地域組織「部」の一つである「湘南・沖縄部」に所属するクラブということになります。国際的な観点で見ると、最上位に「ワイズメンズクラブ国際協会」について「ワイズメンズクラブ・アジア太平洋地域」があり、そこに上記の「東日本区」が繋がるという関係です。

国際協会には、アジア太平洋地域の他、アフリカ、カナダ/

カリブ海、ヨーロッパ、インド、韓国、ラテンアメリカ、USAの各地域が連なり、それら8つの地域それぞれが、ワイズを中心的目的であるそれぞれ地域のYMCAを支える活動を展開しています。

東日本区に話を戻します。先に述べた東日本区の7つの部に所属するクラブは56クラブあります。ご関心のある方は、是非次のURLから東日本区のWEBサイトをお訪ね下さり、東日本区の活動状況、各クラブの活動状況などをつぶさにご覧頂ければと思います。

(今城高之 記)

[ワイズメンズクラブ東日本区 \(ys-east.or.jp\)](http://ys-east.or.jp)

《取材/放映予定》

11月18日(土)に開催される第11回 You & I コンサートの模様が地域のTVネットワーク、「イツコムチャンネル」(地デジ11ch)で放映される予定です。

放送予定は未定ですが、コンサート実施後の(月)~(金)の18:00、(土) 20:00の「イツコム地モトニュース」で放映されるとのことです。また、当日の20:00をはじめとして何回かの再放送もあると聞いています。是非ご覧ください。

《部大会のご案内》 来る11月25日(土)には当クラブが所属する湘南・沖縄部の部大会が「湘南とつかYMCA」で開催されます。14:00からの講演会では、横浜市のウクライナ支援コーディネーターを務めるコヴァリエフスカ・ナタリアさんによる「ウクライナおよびウクライナからの避難民への支援活動」をテーマの講演があります。ご関心の向きは、以下にお尋ねください。

湘南・沖縄部長 黒川勝氏
090-2479-3567
masaru-k.net@hb.tp1.jp

いよいよこの週末には、クラブの大イベント、You&Iコンサートが開催されます。主催者の事務局を務める編集子には、何かと落着かず、プリテンの編集にも気持ちが入りません。誠に申し訳ございません。

▼先週、TKBのメンバー共々、手編みマフラーや帽子を携えて、ウクライナからの避難民の方々が集うみどりクラブを訪問しました。高齢の女性を中心に10人ほどの方々が集っておられ、持ち込んだ数々の手編みの品に大変喜んで受け取ってくださいました。寒い冬を少しでも暖かく過ごして頂きたいという我々の気持ちを通じたものと思えます。

▼コンサートの件ですが、横浜北YMCAを中心に、13名のスタッフがボランティア参加してくれることになりました。主催者側にはロートルが多いことから、若いYのスタッフの参加は心強い限りです。本誌次号にて開催報告を致しますの楽しみにしててください。

▼今月14日に開催したクラブの事務例会には、永らく、コロナの後遺症で苦しんでいた辻剛ワイズが参加し、とてもお元気そうなお顔を見せてくださいました。既往症をお持ちの辻ワイズのお加減を全員で案じていたので、本当に嬉しいことでした。(編集子)

○●○○編集後記○○●○